

秋も地域のみなさんと



▲秋晴れのもと、おこなわれた新井小学校の運動会(9/27)



▲中野区(野方・中野)消防団合同点検(9/21)

▶北野神社祭礼、皆さんと一緒にお神輿を!(9/20,21)



◀多くの方で賑わった、共立健康まつり(9/14)

ご協力をよろしく
お願い致します

開始1週間で
1,000通を
超える

▶連日、アンケート
回答の返信封筒
が届いています

区政アンケート
実施中

▲区内全域から寄せられ、一つ一つに目を通して

党区議団では、区民の皆さんの声を区政へいかすため、アンケートを実施しています。開始1週間で、1,000通を超える返信があり、すでに先回実施の1,200通を大きく超えています。皆さんの声をもとに、新年度の予算要望や政策に活かしていきます。今回は、区議団ホームページからのご回答いただけます。ご協力をお願い致します。なお、回答の結果については、まとめ次第、報告をさせていただきます。ご了承ください。

広島土砂災害 救援募金

台風・豪雨などによる影響で、広島市等で甚大な土砂災害が発生しました。発災直後から、街頭にて救援募金のお願いをさせていただき、多くの方からご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。お預かりした募金は、早速、党を通じて現地へお届けしました。



▲新井スギ薬局前の訴えの様子

第7次東北被災地支援へ

12月中旬に、宮城県石巻市内の仮設住宅へ伺います。震災から4回目の冬を迎える被災地にお正月用品や冬物衣類、日用品などをお届けする予定です。7回目の支援となりますが、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

- 支援募金(現地商店街で物資を購入)
- 冬物衣類、お正月用品など(新品又は新品に近いもの)

※ご協力いただける方は電話・メールなどで一報いただければ幸いです。



▲第6次(2014年7月)支援の様子

区議会定例会のお知らせ(予定)

11月26日(水)
～12月9日(火)

- 本会議：11月26日(水)・27日(木)・28日(金)・12月9日(火)
 - 常任委員会：12月2日(火)・3日(水)・4日(木)
 - 特別委員会：12月5日(金)
- ※区役所3階、区議会事務局にて手続きをおこなえば、どなたでも傍聴できます。ぜひ、お出かけ下さい。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。
弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。



日本共産党
中野区議会議員

浦野さとみの区政報告 No. 50

ほっこり通信

何でも無料生活相談実施中!

- e-mail: urano@jcp-seven.jp
- 携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ

浦野さとみ

検索

●Twitter: @urano_satomi

●Facebook: 浦野さとみ

聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



消費税10%ストップ、暮らし応援の区政を

2012年度決算を審査する議会が行われました。一般会計決算では、これまで党区議団が区民の皆さんとともに要望してきた認可保育園と分室の増設、避難所備蓄物資の配備、長寿健診費用の負担軽減などが実施されたことは評価されます。しかし、予算案で指摘したことが決算においても明らかになりました。

一本当に財政非常事態だったのか、 区の貯金は400億円

年度当初、財政非常事態と宣言しながら、決算では財政健全化を謳っています。この年度も財政調整基金を16億円新たに積み増し、同基金は206億円にまで膨らんでいます。他の基金(貯金)もあわせると総額は400億円を維持しています。



▲本会議質問に立つ浦野さとみ区議

区民のために
中野区は本当に財政難か!?
お金がどう使われたか

—その一方で 区民サービスを切り捨て—

この年度は、事業見直しによって、障害者福祉手当第2種(65才以上)を半額に削減、また、年間2万人以上の方が利用していた松が丘と弥生の高齢者福祉センターでの入浴事業や相談事業を廃止しました。さらには、小中学校の遠足・社会科見学等のバス代補助も廃止するなど、特に、福祉や教育、高齢者や障がい者・子ども施策を切り捨てたことは重大です。

—今後、進む

中野駅周辺開発は聖域化—
今後、さらに進む中野駅周辺の大規模な再開発(西側南北通路・橋上駅舎・駅ビル建設を含む第2期整備、区役所・サンプラザ地区一体開発・中野駅南口前や中野3丁目広場整備等を含む第3期整備など)は10年以上かけての計画が検討されていますが、一体、どれだけの財政規模になるのか、未だに明らかにされていません。毎年の予算編成の中で示される「財政運営の考え方」にある概算も、年が変われば大きく変動しています。計画が進めば、再開発の費用総額も大きく膨れ上がることは明らかです。

浦野さとみ区議の本会議質問ハイライト



子どもの貧困対策を

厚生労働省の国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率（年122万円を下回る世帯で暮らす18歳未満の割合）は過去最悪の16.3%（6人に1人）となり、先進国の中でも深刻な状態にあります。特に、ひとり親世帯では2人に1人となっています。非正規雇用の増加など、親が一生懸命に働いても、貧困から抜け出せない実態もあります。子どもの貧困は、予防接種率や進学率にも影響を与えています。まずは、区として実態把握を、その上で学習支援や就学援助の拡充などについて対策を求めました。



認知症対策 医療・介護施策充実を

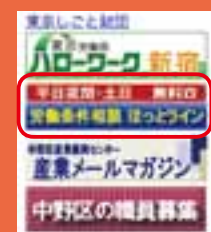
高齢化を迎える中で、地域包括支援センターの役割はますます重要になります。また、認知症については、当事者に対する初期段階での専門的な関わりと適切な治療とあわせ、ご家族の介護負担の軽減、地域での認知症啓発が重要です。区には、4つの日常生活圏域に各2か所ずつ、計8カ所の地域包括支援センターがありますが、個々の相談も複雑・多様化しており、専門職が専門的知識で丁寧に関わることがより求められます。地域包括支援センターの箇所数や専門職種の配置を増やしていくこと、認知症ケアの専門職種のひとつである作業療法士なども配置していくなど、質・量ともに対応力を強化・拡充すべきことを要望しました。



ブラック企業対策を

昨年、厚生労働省が実施した、過酷な労働を強いる「ブラック企業」の疑いがある企業への立ち入り調査では、8割を超える企業・事業所で違法な時間外労働などの労働基準関係法令違反があったことが明らかになり、あらためて、労働者のおかれている深刻な実態が裏付けられました。この種の調査は全国で初めてです。9月1日からは、厚労省がブラック企業対策を目的として、夜間や休日にも電話にて無料で労働相談を受け付ける「労働条件相談ほっとライン」が来年3月末まで開設されています。区としても、ブラック企業対策のセミナーの開催や上記の「労働条件相談ほっとライン」の案内先を区の就労支援サイト「ぐっJOB・なかの」のトップページに掲載し、積極的な情報発信をすべきことを求めました。

提案が実り、「労働条件相談ほっとライン」の案内が、区の「就労・求人支援サイト」(ぐっJOBなかの)に掲載されました！



新井薬師前駅ホームの安全対策を

西武新宿線の開かずの踏切解消に向け、沼袋駅新井薬師前駅の地下化に向けた工事が開始されていますが、現在の新井薬師前駅においては、電車ドアとホームとの間が一部で大きく開いており、その安全対策は求められ続けています。また、地下化後についても、ホームドアや可動ステップなどの安全対策は不可欠です。区に対し、そのための話し合いを西武鉄道と進めるべきことをあらためて求めました。



これらの質問以外に、中野駅周辺のまちづくりについて、国民健康保険窓口の外部委託の問題点について、中小企業支援について質問をおこないました。

傍聴者の声

9月の区議会で浦野さんの一般質問を友人を誘って傍聴させて頂きました。子供の貧困と支援の問題、医療介護、まちづくり、西武新宿線問題など身近な問題を質問され、それに対し区側の答弁は冷たいものでした。区のやる気のなさに呆れるばかりですが、このことを、多くの人に知らせなければと痛感しました。

沢山の傍聴、ありがとうございました！



(女性、上高田在住)

消費税10%増税ストップの意見書を提案

連日、地域をまわっていても、「これ以上、消費税が上がれば、お店を続けていくことは難しい」「8%増税以降、さらに、この秋には物価もあがり、買い物控えざる得なくなった」という声が溢れています。区議会定例会の最終日、議員提出議案として「消費税10%増税中止を求める意見書」を提案。自民党、公明党、民主党、無所属区議1名（いななき区議）の反対で否決となりましたが、引き続き、皆さんと声をあげ、増税ストップを！



体育館、なかのZEROホール等、使用料大幅値上げが

2007年、2011年に続き、区有施設使用料の値上げが議案として出されました。日本共産党は、使用料積算の根拠が区民負担増を前提としていること、利用する区民への影響が大きく利用抑制にもつながってしまうことなどを理由に反対しましたが、自民党、公明党、民主党、みんなの党などの賛成で可決されました。

表1 〈特に値上げ額が大きい施設〉

施設名	区分	現行	改定後	差
中野体育館	日・休日 夜間	253.400	288.600	35.200
野方区民ホール	土・日・休日の夜間	38.600	43.900	5.300
なかのZEROホール(大)	日・休日の夜間	185.000	210.200	25.200
なかのZEROホール(小)	土・日・休日の夜間	107.900	122.600	14.700

※いずれも入場料を徴収する場合